

■授業の目的

教職免許状を取得しようとする人を対象に、教育に関する心理学からの知見を紹介し、必要な知識の習得と人間についての理解を深めることを目的とします。「教育」というよりは「学習、学ぶ」ことへの理解とそれを行う人間の動機、行動、性格、知能、学力といった個人差を理解することを目的とします。

こうした学習により、自分や他人の行動の理由を動機という観点から述べられるようになること、自分や他人を比較した場合その特性はどこにあるのかを自覚できるようになることを目指します。

■授業の到達目標

教員採用試験受験に求められる知識と理解を目的にしていますので、学習目標としては次の諸点が挙げられます。前期開講の教育発達心理学 I では、

- ・ヒトの自発的行動の仕組みを理解し、自身の諸活動の動機を列挙できるようになること
- ・自発的活動のなかでも特に学習（学ぶこと）への様々な動機を列挙し、それらを分類できること
- ・学習行動に関する実験的事実と理論を理解し、それらを現実のクラスにおける活動に応用できること

■授業計画

- 1 **ガイダンス**
講義についてその性格、概要、および評価方法と昨年度の結果、勉強の方法などを説明します。一年間の講義でどのようなトピックスをとりあげるかを概観します。
- 2 **人の行動と動機づけ**
私たちはさまざまな種類の行動を行いますが、それらを区別しその原因（仕組み）を考えることにより、なぜ自分はこのように振る舞うのかを説明できるようにします。
- 3 **自発的行動と動機づけ**
ヒトの行動の多くは反射や本能的行動ではなく自発的行動なので、なぜそのように振る舞うかを理解するために、動機づけという仕組みを考える必要があります。
- 4 **動機の種類**
私たちの動因（動機）の種類を試みます。また、どれにも分類できないような動因の数々にもふれます。
- 5 **アスリートの動機**
マラソンランナーの証言から彼女たちの動機を推測することを試み、それを「学習」の動機と関連づけます。
- 6 **外発的動機づけと内発的動機づけ**
心理学における大きな動機づけの区別である外発的動機づけと内発的動機づけに振れ、自分の動機を振り返るとともに、なぜこのように振る舞うのかについて心理学的な説明ができるようにします。
- 7 **教室での動機づけ**
どのようにして学習意欲を高めるかといった現実の問題を取り扱う際に、配慮しなければならないことをいくつか取り上げます。
- 8 **学習の基礎**
学習（learning）の基礎を簡単に述べます。学習はとくにヒトにおいては重要な事柄と考えられます。なぜなら、私たちヒトの行動のほとんどは生後に習得されたものだからです。
- 9 **学習理論**
学習についての代表的な理論を取り上げます。理論がそのまま現実の教室で応用できるとは限りませんが、目の前の行動や問題についての心理学的な理解の方法を考えられるようになるでしょう。
- 10 **学習の転移**
学習心理学において転移として知られる現象とその教育における取り扱いについて述べます。
- 11 **学習法**
学習理論から導き出される学習のうち、プログラム学習と発見学習を取り上げます。
- 12 **記憶の働きと学習**
学習に欠かすことのできない記憶の仕組みとその測定法について取り上げます。
- 13 **測定とはなにをすることなのか**
教育や心理で必要とされる測定とはなにをすることなのか、そして得られた測定値にはいくつかの性質があることを述べます。
- 14 **偏差値とはなににか**
測定値が正規分布している場合には、代表値（平均値）と散布度（標準偏差）を知ることにより、ある測定値の全体の中での位置を知ることができるようになります。
- 15 **相対的位置の推定**
正規分布する集団の中である測定値がどこに位置するか、その相対的位置を推定するという作業を説明します。

■授業の方法

講義サイトには学習者サポートを目的としたページがあります。【資料】講義で取り上げるトピックスの資料です。事前に読み、必要なら印刷して講義に臨んで下さい。また授業内容に則した小さな【課題】できるだけ用意し、各自に授業中に取り組んでもらうようにします。加えて【復習問題】ネットで出題しますので取り組んで下さい。

■予習・復習

講義では資料提供のためにサイトを使用していますので、

- ・まず授業に先立って資料を入手し、それに目を通して頂くこと
 - ・授業中には講義資料にメモを取る
 - ・受講後はメモを読み返し、その授業内容を振り返ること
 - ・さらにサイトで実施する復習のための演習問題を受験し、自分の理解の程度を確認すること
- これらのステップを踏むことでより確実な学習が可能になるはずですよ。

■成績評価の方法

前期・後期末の最終授業時間に【期末試験と解説】を行います。これが評価の80%を占めます。試験形式は選択問題と論述問題からなります。各領域を終えた時点で実施する【復習問題】と加えて授業中の【課題】提出により残りの20%とします。

■教科書・参考書

この講義ではテキストを使用しませんので、サイトの資料を参照して下さい。

講義サイトの URL <http://spot4u.jp/>

■関連する科目

教職課程の科目、教養教育科目の心理学系科目